



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第76号 R4. 9. 1

ダンゴムシって英語で何て言うの？ ～保育所、幼稚園、認定こども園での英語活動より～

豊能町と連携協力を行っている桃山学院教育大学より安井茂喜教授とデッカー・ウォーレン・オサーリバン准教授にお越しいただき、町内3か所の保育所、幼稚園、認定こども園にて5歳児クラスの担任の先生とウォーレン先生による英語での授業を7月に実施しました。テーマは、子どもたちにとって身近な生き物を英語で言うことでした。カブトムシ、バッタ、テントウムシ、ダンゴムシ、トカゲなど園で飼育しているものや園庭で普段見かける生き物を題材に取り上げました。

歌、手遊び、カード遊び、絵本の読み聞かせなど、“授業”というよりは“遊び”をとおして楽しく英語を使う活動でした。自己紹介では、一生懸命に「My name is ○○.」と言って元気よくハイタッチをしたり、先生が英語で言う生き物の名称を聞いて、生き物の絵が描いてある手持ちのカードを指さしたり、デッカー先生による英語での絵本の読み聞かせを体験したりして、あっという間に楽しい時間が過ぎて行きました。



義務教育学校開校に向けて 標準服等検討部会（東西合同開催）の報告

【第3回】 日時：6月21日（火）15：30～ 場所：豊能町役場

【第4回】 日時：7月21日（木）15：30～ 場所：吉川中学校

標準服等検討部会では、「制服」導入の有無や必要性、制服導入の場合の着用学年についての協議を行っています。学校での「服装」を考えるうえで、「子どもが安心して平等に学べる服装」「子どもの学びを妨げない服装」の2点を大事にして協議を進めています。

（部会でのご意見等）

- ・そもそも、最初に「制服」を導入することになった意図や役割は何だったのか。
- ・「すべての子どもたちが豊かに通える学校」をめざして、協議をしていきたい。
- ・「新しい学校」をつくっていくので、これが当たり前というのがあると思うが、今までのことに引きずられず、ゼロベースで考えていきたい。

◆保護者の皆様、先生方、子どもたちの意見を参考にしながら協議を進めていきたいと考え、アンケート調査等を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

15年間の「学び」と「育ち」をつなぐ一貫した教育の実現をめざして② ～ふたば園 「東能勢小学校の3年生と交流しました！」～

年に数回、就学にむけて期待感をもてるよう幼児と児童との交流や体験入学などを行っています。今回は、6月に東能勢小学校の3年生がふたば園まで遊びに来てくれた様子をご紹介します。5歳児が就学した時に前期学部の最高学年として迎えてくれるのが3年生です。

初めのうちは緊張した面持ちの5歳児でしたが、あそびが進むにつれ、だんだん笑顔が増え、自己紹介では3つの質問に互いに答えますが恥ずかしそう…。その後、ペアで繋がり、じゃんけん列車をしました。後ろから顔を出してじゃんけんの様子を優しく見守ってくれる3年生と徐々に打ち解け、転がしドッジではペアで逃げ回りました。3年生が優しく手を繋いでくれたり、当たりそうになったらキャッチしてくれたり…もう満面の笑みで大興奮！最後は保育室で過ごし3年生が「何で遊ぶ？」「次何したい？」と聞いてくれて、何でも一緒に楽しんでくれました。

思い出のふたば園に来て「こんな、ちっちゃかったっけ？」と言いながら自身の成長を感じるとともに頼られてうれしそうな表情の小学生。いっぱい遊んでもらって楽しい出会いと時間をもてた園児。互いにいい経験ができました。

次回、5歳児と3年生は、秋に小学校で行う予定です。また4歳児と2年生、3歳児と1年生も交流会を行う予定です。子どもたちの交流も重ねながら職員間でも交流し、とよの子どもたちの育ちを同じ視点で保育・教育していきたいと考えています。



なんて呼んでほしい？

さいしょはグー！！

それっ！

にげろ～！

〈令和5年度使用小・中学校用教科用図書の採択結果について〉

7月29日に開催した令和4年第4回豊能町教育委員会会議において、令和5年度に豊能町内の小・中学校で使用する教科書を採択しました。令和5年度は、令和4年度と同一の教科書を使用します。

～想いを名前にのせて～

豊能町立義務教育学校（令和8年4月開校予定）
校名募集 9月12日（月）締切迫る！！



【詳しくはこちらから⇒<https://www.town.toyono.osaka.jp/page/page005297.html>】

○東地区の新しい学校の設置場所は、東能勢中学校校舎・敷地を活用します。

○西地区の新しい学校の設置場所は、吉川中学校校舎・敷地を活用します。